



(上)リビングの壁には匂いや有害物質を吸着するエコカラットを使用 (下)蓄熱暖房器用の造作棚。使用しない時期は蓋をして目立たないようにできる (左上)食事後はなんとなく集まってしまうリビング。梁の風合いも落ち着きを出す (左中)庭に合うようにつくられた和の趣ある外観。太陽光発電や瓦はご主人が手がけた (左下)家の前にはご主人が子供の頃から見ていた庭が広がる

☑ 木材を豊富に使いたい



希望を叶えた家

住建ホーム／有限会社橋本住建

福山市／Kさん邸
家族構成／夫婦、子ども2人
土地面積／264.00㎡ (79.86坪)
延床面積／141.74㎡ (42.87坪)
建物工法／通気断熱WB工法

最初の希望

- 木材を豊富に使いたい
- 和風な家に住みたい
- 書斎が欲しい
- 家事が楽になりたい

子供のころから見つめていた光景とともに新しい生活をつくる

周田の景色は変わっても、ご主人が見てきたこの家から望む庭の風景は変わらない。ご主人はお父様から庭の木の剪定を教わるつもりだ。その後姿は、お子さまの記憶に残り、受け継がれていくことだろう。

WB工法をつくる空気は家から帰るとその心地良さを実感できる。自然素材の香りは残しながら気になる生活臭を感じさせない。この家に帰れば、家族とやさしい空気が帰る人を迎え入れてくれる。

周田の景色は変わっても、ご主人が見てきたこの家から望む庭の風景は変わらない。ご主人はお父様から庭の木の剪定を教わるつもりだ。その後姿は、お子さまの記憶に残り、受け継がれていくことだろう。

WB工法をつくる空気は家から帰るとその心地良さを実感できる。自然素材の香りは残しながら気になる生活臭を感じさせない。この家に帰れば、家族とやさしい空気が帰る人を迎え入れてくれる。

ご主人のKさんはこの地で生まれ育った。いつか家を持つときはこの地に帰ると決めていたそうだ。ご主人の幼少期から過ごしてきた家には昭和の風情を感じさせる門構えと日本庭園が昔から変わらず残る。大人になったご主人がつくった家は、この庭の雰囲気損なわない和の風情を持つ家だった。

昔から家に残っていた敷石を使ったアプローチから玄関に。軒下には1本の木から造作したワンポイントの梁があり、昔ながらの心落ち着く和の雰囲気をつくる。

玄関を入れば、木のモザイクタイルが腰壁に使われている。これは手に触れやすい部分に腰壁を使うことで、壁の汚れを防ぎ、手入れしやすいという「橋本住建」の長年の経験からの配慮だ。

左手側は客間としての和室を設けた。畳の香りが残る和室はあたたかみのある聚楽壁を用い、障子から入る光はより柔らかくなり室内に降り注ぐ。玄関側のふすまは縦のラインと枠で構成した「橋本住建」による造作で、和室側から見ると和の風情を漂わせ、洋風のリビング側から見た場合は、スタイルを崩すことなく受け入れてくれるデザインがなされている。

受け継ぐ景色

和の色や風情を大切にしたい家では、WB工法でつくるやさしい空気が流れる。この地で生まれ育ったご主人が家族のためにつくった家は、長く大切に生きていくためのさりげない工夫で家族を幸せで包んでいる。

施工:住建ホーム／有限会社橋本住建 [会社の詳細は000p・000p](#)



☑ 和風な家に住みたい

和室の前には広縁があり、竹のフローリングが室内に明るい光を呼び込む

家族がずっと元気であるために選ばれたWB工法の家



1. 和室から臨む日本庭園の光景はご主人がお気に入りのポイント
2. 広縁の一部をご主人の仕事スペースに。来客時にはロールスクリーンで隠すこともできる
3. キッチン横は家事室を設けた。この台は物を置いたり、アイロンを掛けたり大活躍だ
4. 家事室にはパントリーもあり、保存食などもたっぷり収納できる
5. 2階は明るめの床板で開放的。階段の飾り棚は施工途中にご夫婦のご要望に合わせて作成した



☑ 家事が楽になりたい

☑ 書斎が欲しい

施工対談
 「福山市」 「住建ホーム 常務」
Kさん×橋本智さん

「家を建てるなら橋本さんに！」と家を建てる前から考えていたKさんご夫婦。木や素材などのこだわりはもちろん、見学に行くとき細部まできちりと施工していく様子と、「橋本住建」のプロ魂に感服したという。

ご主人 この暑い時期に帰っても部屋がムツとしていないんですよ。
橋本さん WB工法の効果でしょうね。空気が循環して湿気や匂いを排出しているんですよ。
奥さま 私たちは慣れてしまったんですが、木や畳の香りが残っているようでお客様に「木の香りがいいですね」と言われるんですよ。
橋本さん Kさんは木を多く使いたいという要望でしたから、床はもちろん、腰壁にも木を使用しました。
ご主人 やっぱり「橋本住建」さんにお願いで良かったです。10数年前にお仕事を一緒させていただいて、細かい仕事ぶりとお人柄で、「家を建てるならこの人に」と決めてたんです。
奥さま まだ家をつくる予定がない時から決まっていたんですよ。
ご主人 しばらくお会いしてなかったのですが、電話するときは緊張しました。
橋本さん 突然のお電話でびっくりでしたし、お話の内容も家をつくりたいということでしたので、さらにびっくりしました。でも、私たちが選んでくださったことに本当に感謝

しています。
ご主人 一生に一度の家ですから、丁寧につくってくれる会社さんを選んでください。実際に、建設中何度かお邪魔させていただきましたが、その細かい作業には本当に感心しました。断熱材の入れ方も妥協なし！という作業ぶり、変わらず橋本さんのところはすごい仕事ぶりだなと思いました。
橋本さん うちが自社大工でね、みんな仕事には誇りを持っているし、自分たちが納得しないと次のステップに進まないんですよ。
奥さま 押入れの棚の高さを決めるとき、私は適当な高さでいいかなと思っていました。でも、大工さんが家にある収納ボックスの高さを測ってきただけで、今言ってくれました。今になって納得することばかりです。
橋本さん やっぱりお持ちのものをそのまま使える方がいいですからね。この家の良さって今だけじゃなく、数年後にもじわじわとわかってくださると思います。



【設計・施工】
 住建ホーム／有限会社橋本住建

【福山市・Kさん邸】 【家族構成】夫婦、子ども2人 【敷地面積】264.00㎡ (79.86坪) 【床面積】141.74㎡ (42.87坪) 【1階】80.78㎡ (24.43坪) 【2階】60.96㎡ (18.44坪) 【用途地域】第一種住居地域 【建ぺい率】60% 【容積率】160% 【建築工法】通気断熱WB工法 【本体工事費】2,000万円台 【坪単価】50万円台

会社の詳細は000p-000p

